

大阪市淀川区新北野 地区防災計画

【 地震初動編 】

2024年度改訂版



新北野地域活動協議会

新北野地区の目標

守る、みんなのいのち！

都市域にあり、駅前には商業施設もあり、「だんぢり」などの歴史や伝統も保持している新北野は、暮らしやすいまちです。しかし、少子高齢化が進むなかにあって、決して災害に強い条件がそろっているわけではありません。

災害が起きると、弱い立場の人ほど困窮するものです。わたしたちは、そうした支援の手が必要となる人たちを見捨てることなく、しっかりと守り切りたいと考えました。その思いを胸に、この「地区防災計画（地震初動編）」を策定することにしましたのです。

防災は、やるか、やらないか、その二択です。わたしたち新北野では、着実に「やるべきことやる」道を選択したいと思います。この地区防災計画をひとつの道しるべとして、ともに防災力向上を目指していきましょう！

計画の対象	1
地震に弱い新北野地区	2
発災から 24 時間 救える命を救い合う	3
町会の一時避難場所	5
新北野地区 概略図	6
避難所運営委員会	7
避難者カード	8
災害時避難所 ～6つの要点～	9
新北野中学校の備蓄品リスト 1～2	11
新北野中学校の備蓄品リスト 3～4	13

次

地区の備蓄品	15
家庭の備え	16
地域本部と区役所の連絡手段	17
情報は命綱	18
防災訓練の様子	19
MEMO	20
メッセージ	21



計画の対象

この地区防災計画が発動するのは、以下の条件を想定しています。また、地域本部要員が「これは一大事だ！」と感じたときも該当します。

防災訓練をするときなどにも、この地区防災計画の中身を思い起こして、取り組みを進めましょう。

地震

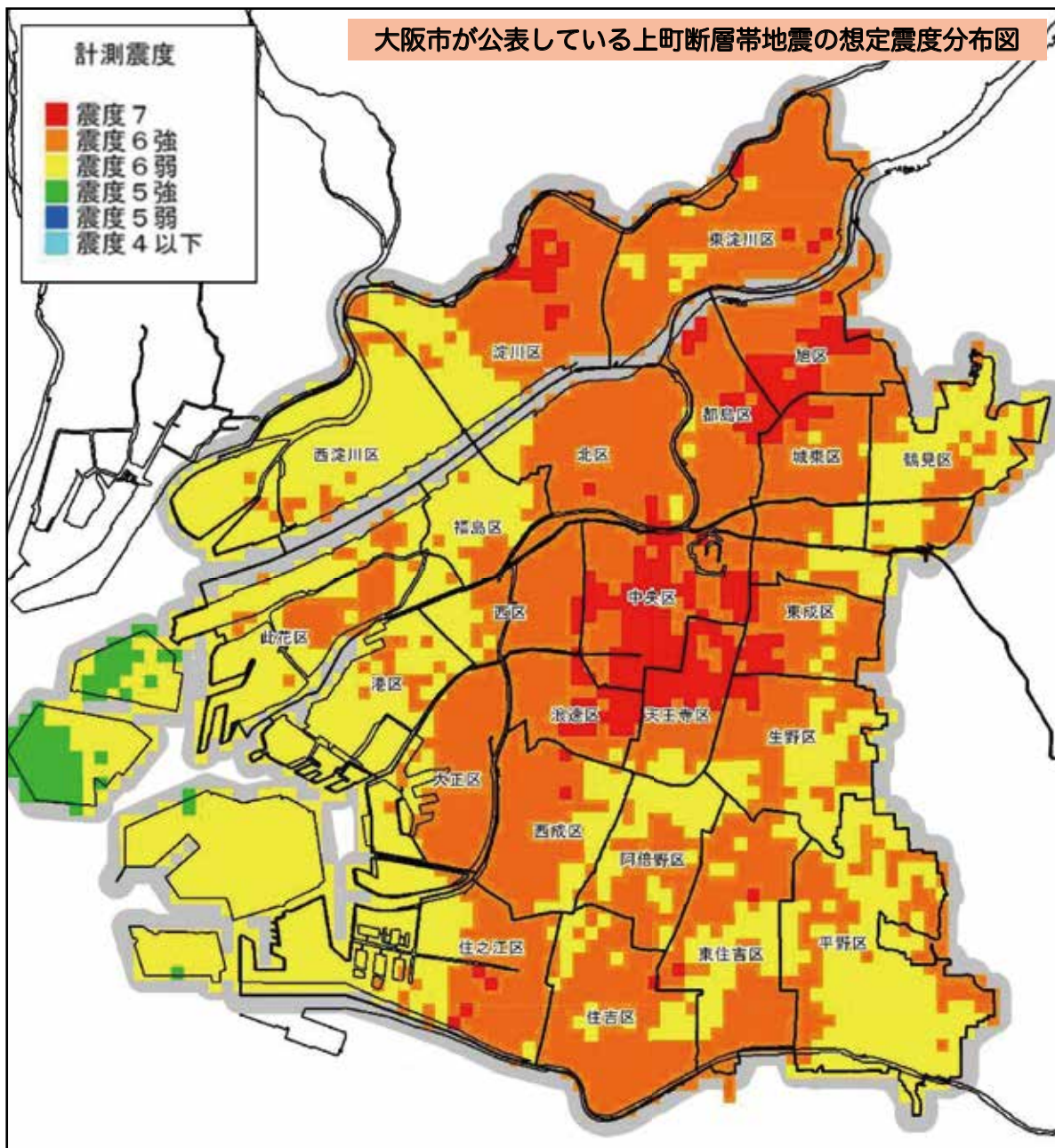
震度 5 レベル以上

初動

発災 24 時間くらい

【注】 風水害や津波を軽視しているわけではありません。風水害は「大型の台風が近づいている」等の情報を活用して早めに身構えます。津波がおそってくる情報があれば、避難することを最優先します。この計画では、いきなりドカンとやってくる地震をターゲットにしました。また、震度5レベルに達していなくても、液状化被害などによって地区がピンチに追い込まれた場合は、この計画を発動させます。

地震に弱い新北野地区



上町断層帯地震では**最大震度 6 強**、南海トラフ巨大地震では**最大震度 6 弱**の揺れに見舞われることが想定されています。淀川に近く地盤が軟弱な淀川区域は、大阪市の中では「**揺れやすい場所**」です。となると、古い木造住宅の被害が拡大したり、液状化被害で道路が通行困難となったり、かなり苦戦を強いられることになります。

高齢化が進んでいることから、地震で「**けがをする人**」が**大勢出る**ことも見込まれています。太平洋沖で津波が発生したら2時間ほどで到達します。その場合は、避難することを最優先しますが、それ以外の場合は、**みんなで救助活動・消火活動**に注力して、救える命を救い合います。

発災から 24 時間

発災直後

まずは安全確保

家族で安否確認
わが身の安全第一で！

家具固定・耐震化など
日頃の成果が試されます

約 1 時間後

隣近所の助け合い

余震に注意しながら
「班」単位で救助活動

初期消火に努めましょう

マンションはフロアごとに
安否確認すると
よいでしょう

エレベータの閉じ込め案件
が発生していないかも
手分けして確認します

【今後の検討課題】

- ★ 福社会館で妊産婦を、
連合会館で発達障がいのある
子どもを収容する
- ★ 各種ホテルを利用する
ために、事前に災害時
での協定等を検討する

約 3 時間後

町会による対応

町会長・副会長は
町会の一時避難場所を
拠点に対応の指揮を
とります

マンションは棟ごとに行動
情報収集・情勢判断が必要

組織的に応急救護を！
救える命を救い合います

医療資源は限られています

災害時避難所（新北野中学校）
は福祉的な支援が必要な人を
優先的に収容します

そのため、自宅が無事だった
世帯は、勝手に避難所に向かう
のではなく、ひとまず「自宅
待機」することを要請します

救える命を救い合う

(注) 時間軸は、あくまでも「目安」です

約 6 時間後

災害時避難所 地域本部設置

情勢が落ち着いた町会から町会長が「災害時避難所（新北野中学校）」に向かい、「地域本部」を立ち上げます（それまでは、各町会長は自分が所属する町会の対応を優先してください）

地域本部

- 本部長：連合振興町会会長
- 副本部長：連合振興町会副会長
災害救助部長
- 情報隊（総務隊）：防災リーダーを中心に複数人で組織する
- 避難所隊：防災リーダーを中心に複数人で組織する
- その他の隊：必要に応じて避難所の状況に応じて、避難所運営委員会の「部」ではなく本部の「隊」に改組・格上げします（治安が悪化すれば防犯隊など）

約 12 時間後

災害時避難所 開設

災害時避難所（新北野中学校）をオープンします

避難所運営委員会は、地域本部の避難所隊の指揮のもと（もしくは避難所隊を改組して）、「部」ごとに手分けして対応にあたります

避難所の運営内容は多岐にわたり、しかも長期に及ぶことが予想されるため、運営委員の構成メンバーは、災害時避難所に集まった人の中から選出して段階的に拡充するようにしましょう

多くのコアメンバーは救助活動や消火活動を優先して、救える命を救うことに専念していますので、初日から「炊き出し」をおこなえるとはかぎりません

発災初日は持参した非常食でしのいでもらうことになります

町会の一時避難場所

各町会において、いったん身を寄せる場所のことです。しかし、スペースが十分にあるとは限りませんから、地区の住民が皆ここにずっと待機しているわけではありません。福祉的なケアが求められる人は、状況に応じて災害時避難所（新北野中学校）に向かっていただきます。

町会長は原則、発災当初はここで指揮をとります。つまり、町会の一時避難場所は、救助や消火などの「救える命を救い合う」ための活動拠点になる場所であることを覚えておいてください。

	町会	町会の一時避難場所
①	第1町会	淀川図書館前
②	第2町会	北野高校南門前
③	第3町会	新北野福社会館前
④	第4町会	山田駐車場前
⑤	第5町会	新北野公園 南側
⑥	第6町会	新北野公園 北側
⑦	新北野コーポ町会	集会所前
⑧	第2コーポ町会	コーポ小公園
⑨	第3コーポ町会	玄関前広場
⑩	ハイム北野町会	一階ロビー
⑪	近鉄リバーサイド町会	一階ロビー

（注）右ページで位置を確認しておきましょう。

新北野地区 概略図



重要

「避難場所」は、一時的に身を寄せる主に屋外の空間を指しています。一方、「避難所」は、被災後に暮らしを共にすることになる施設を指します。地図内には、町会ごとの「町会の一時避難場所」以外に、「一時避難場所」を示しました。火災の延焼などが起きた際には、公園などの広い場所（一時避難場所）に退避します。また、津波の襲来が懸念されるときは、「津波避難ビル」などに身を寄せるようにしてください。

避難所運営委員会

避難所運営委員会は、以下のような編成にすることを想定しています。災害時避難所に集まった人たちから、町会のバランスをとるようにして選出し、柔軟に拡充したり、時機を見て圧縮したりするようにしましょう。

新北野地区 避難所運営委員会	
委員長	*避難所運営の統括、指揮
副委員長	*委員長の補佐、代行
総務部	*避難所運営委員会の事務局業務（情報管理、調整、記録） *避難所全体の状況把握、関係部門への対応指示 *地域本部との連絡調整、避難者への情報提供
管理部	*避難所配置図に基づく避難所の設営、管理 *避難者の受付、避難者名簿の作成&管理、退所管理 *避難所の環境整備、安全管理
物資部	*備蓄物資の管理 *救援物資や調達物資の受入れ、管理 *避難者への物資配布
食料部	*食品、炊き出し機材、配食機材の管理 *炊き出し *食料、飲料水の配布
救護部	*救護室、福祉避難室の開設、運営 *傷病者の救護処置 *避難行動要支援者の介護、支援
衛生部	*避難所の衛生管理 *仮設トイレ、ごみ集積場の設置、管理 *ペットコーナーの設置、管理

重要

行政と連絡をとりあったり、救援物資を集積したり、炊き出しをしたりする拠点は、「災害時避難所」（新北野中学校）です。ライフラインが途絶するなどして生活に困窮している「在宅避難者」を支援する必要がある場合は、町会のエリアごとに必要人数をとりまとめて「地域本部」（新北野中学校）に連絡するようにしてください。また、「地域本部」側に物資を届ける要員が配置されているわけではありません。運搬器具を持参して新北野中学校まで受け取りに来るようにしてください。

避難者カード

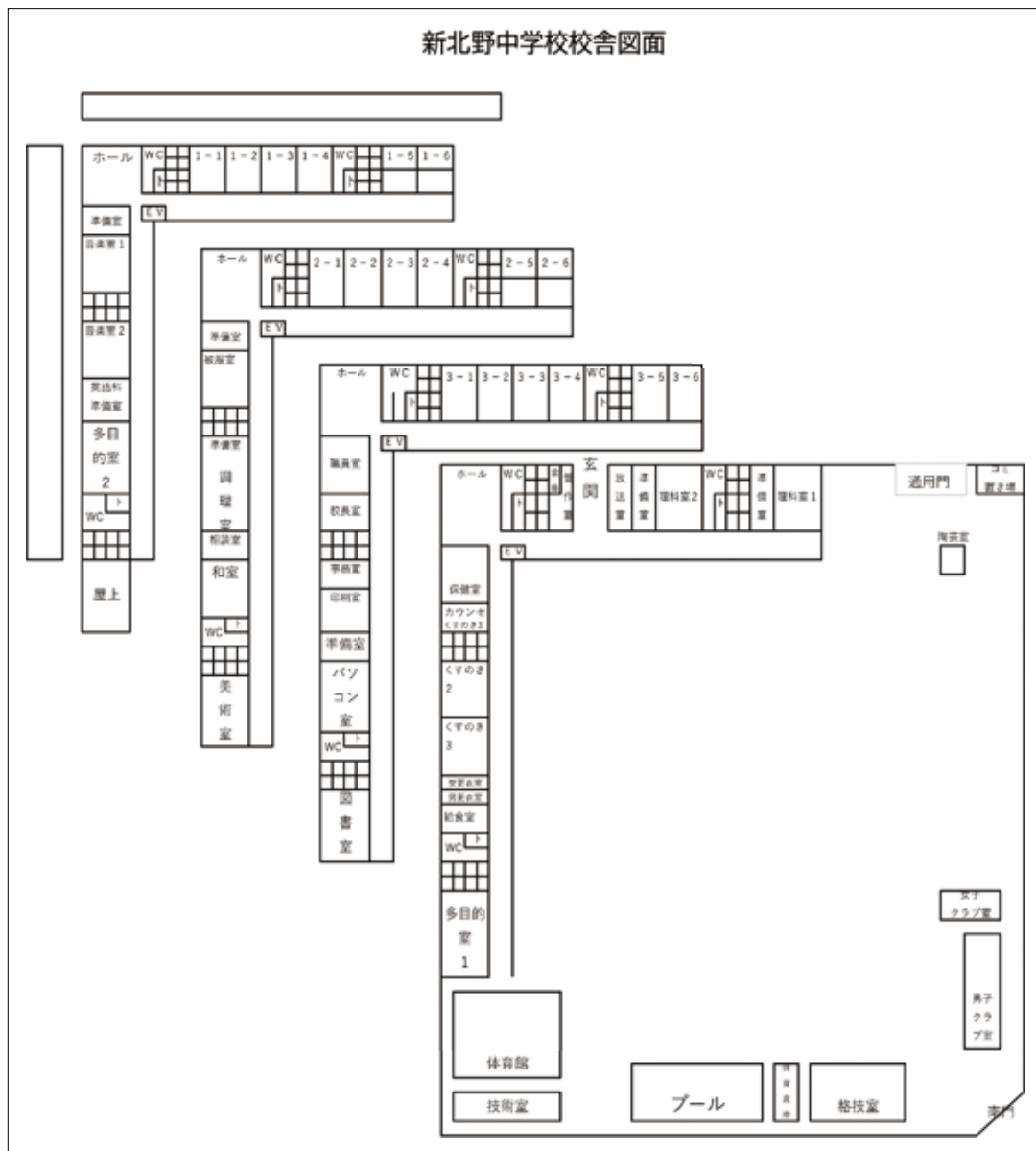
新北野地区（町会）

ふりがな	（ ）		
お名前			
性別	男 女	血液型	型（Rh + —）
ご住所			
連絡先			
緊急連絡先			
生年月日	大正・昭和・平成・令和 年 月 日（ 歳）		
町会の 一時避難場所			
避難所			
世帯状況	人世帯（構成： ）		
その他	※特に配慮が必要な事項をご記載ください。		

災害時避難所

避難所の収容は、“早いもの順”ではありません！

入口	・・・「南門」に限定します
受付	・・・「南門の脇」に設置します。「避難者カード」をご提出ください。
本部	・・・「多目的室1」
備考	・・・ 同行避難したペットは北側の「通用門付近」で管理していただきます



(注) 運営体制を二重に完備することが困難であるため、まずは新北野中学校を優先し、北野高校の体育館は予備的なスペースとして位置づけます。なお、北野高校でも要配慮者を優先します。

～6つの要点～

1 要配慮者をケアするために優先活用します

スペースが限られているため、福祉的なケアが必要なかたとその家族を優先して収容します。

2 ペットの同行避難可、ただしマナーを厳守

ペットは、飼い主が責任をもって管理する限りにおいて受け入れます。ただし、避難者が寝泊りしている屋内に入れることはできません。

3 車の乗り入れは関係車両のみ

救援物資運搬車両、医療・福祉車両が優先。一般車両は敷地内に入ることとはできません。

4 避難所運営委員会が民主的に運営します

大勢が生活する場となります。消灯時間などの規則は随時、運営委員会で協議して決めます。

5 混乱なきよう帰宅困難者に対応します

大勢の帰宅困難者が来た場合は、混乱が生じないよう行政の情報を提供します。

6 学校の早期授業再開に協力します

学校は生徒たちの学び場です。避難者が使えるエリアは、避難所運営委員会が学校側と調整します。

新北野中学校の備蓄品

新北野中学校備蓄物資一覧表（令和6年1月現在）

物資名称	備蓄数	物資名称	備蓄数
おんぶ隊	3個	レインコート	4枚
懐中電灯	20個	1Pマスク	200枚
拡声器	1個	災害用エアーマット	12枚
紙コップ	100個	災害用担架 (かんたんタンカ)	1個
給水袋（3ℓ）	20枚	お手伝いバンダナ	14個
緊急セット	1セット	医療バンダナ	3個
軍手	240双	特設公衆電話	3台
単1乾電池 (懐中電灯用)	20個	ハンズフリー拡声器	1個
単2乾電池（拡声器用）	6個	日用品セット	3セット
ブランケット（膝掛け）	50枚	事務用品BOX	2個
防塵マスク	150枚	ブランケット	100枚
防水シート (ブルーシート)	120枚	容器、割箸、輪ゴムセット	100セット
毛布	300枚	懐中電灯	3個
ラジオ	7台	手回しラジオ	1個
スマートムーバー	6個	使い捨て哺乳瓶	10個
プライベートルーム	1セット	LED充電ライト	1台
アルミマット	5枚	給水袋（6ℓ）100個入	1箱
ワンタッチパーテーション	6台		
【備考】 懐中電灯：プラ衣装ケース内に保管 スマートムーバー：地域倉庫にて保管			

リスト 1～2

【飲食料物資】

物資名称	備蓄数	備蓄数
アルファ化米白がゆ（個食用）	50食	3箱
アルファ化米わかめご飯（個食用）	50食	1箱
アルファ化米わかめご飯（炊き出し用）	50食	1箱
アルファ化米ピラフ（個食用）	50食	1箱
ビスケット（5枚入り）	50食	1箱
飲料水	24本	103箱

【トイレ・おむつ関係】

物資名称	備蓄数	物資名称	備蓄数
簡易トイレ①（ニード）	4個	生理用品（10パック入り）	1パック
簡易トイレ②（組立式）	4個	リハパン（大人用 M20、L18）	各1袋
ポータブルトイレ（大）	1基	非常用組立式簡易トイレ	1台
トイレ消耗品①（ニード）	8セット	簡易トイレ用テント	1張
トイレ消耗品②	4セット	使い捨て哺乳瓶	10個
トイレ付属品	300回分	アテント（M30、L26）	各1袋
トイレテント（ワンタッチ）	9個	子供用おむつ（M64、L54）	各1袋

【資材ロッカー】

物資名称	備蓄数	物資名称	備蓄数
懐中電灯手動式	1個	ショベル	4本
かけや（木槌）	1本	手斧	2本
ガムテープ	2個	布担架	1台
ゴミ袋（90ℓ）	10枚	のこぎり	3本
ジャッキ	2台	パール	3本
充電式ラジオ	2台	40m ロープ	1本

新北野中学校の備蓄品

【感染症対策用避難所開設キット及び物品】

物資名称	備蓄数
マスク（１箱５０枚入り）	７００枚
ビニール手袋	１０００枚
フェイスシールド	６枚
雨合羽	５０枚
防護服	２枚
キッチンタオル（１５０枚入り）	１５００枚
ポリ袋（４５ℓ）	１００枚
ポリ袋（２０ℓ）	１０００枚
鉛筆（１箱１０本入り）	５０本
透明シート	４枚
電子体温計	１個
メジャー	１個
養生テープ	１０巻
トラテープ	２巻
両面テープ（強力）	２個
両面テープ（再剥離）	２個
プラスチック製トレイ（黒）	１枚
非接触型体温計	２台
シューズカバー	５００枚
プラスチックバット	２枚
ワンタッチテント災害時避難者用	５個
アクリルパーティション	２台

リスト 3～4

マグネシウム空気電池	1台
サランラップ	5本
アルコール消毒液（1ℓ）	12本
アルコール消毒液容器（500ml用）	20個
防護服	12枚
子ども用マスク	50枚
フェイスシールド	10枚
養生テープ	5巻
靴用ビニール袋	300枚

（注）これらの物資は北野高校にもほぼ同量ストックされています

重要

各家庭でも備蓄をおこないましょう

地域の備蓄には限りがあります。たくさんの種類を網羅するにはして
おりますが、たくさんの量が確保されているわけではありません。

たとえば「飲み水」は、これまで、様々な災害時に不足して困窮したことが
指摘されています。店舗がすぐにオープンするわけではありません。

給水車がすぐに駆けつけてくれるわけでもありません。

各家庭で真剣に備えを進めることが、新北野の防災力向上に直結するのです。

地区の備蓄品

(新北野公園) 防災倉庫保管品一覧表

2023 年 5 月 13 日 新北野地域防災リーダー

NO	品 名	形 式	仕 様	数量
1	カセットガス式発電機	EU9iGB	定格交流出力 100V-0.9KVA	1
2	同上用カセットガスボンベ		250g	12
3	コードリール (電工ドラム)	D-20	屋内用 VCT 1.25mm ² ×2C 20m	1
4	コードリール (電工ドラム)	PAPR-036	屋内用 VCT 2.0mm ² ×2C 20m	2
5	L E D 投光器	EKS2500	31W	1
6	L E D 投光器	WLT-30LKN	30W	1
7	L E D 投光器	CLP-1800AC	20W	1
8	簡易担架 スマートムーバー		ポリビニル不織布 最大加重 120kg	6
9	六角バール		900mmL	3
10	大ハンマー		3.6K	1
11	カケヤ			2
12	ツルハシ			1
13	斧			2
14	スコップ			7
15	綿ロープ		12mm 20m	2
16	防災訓練用表示看板類	13 種類	別紙参照	1 式
17	防災訓練用表示パウチ	35 種類	別紙参照	1 式
18	ハンズフリー拡声器	ER-1000		1
19	防滴メガホン	ER-1106		1
20	キャスト付き折りたたみ担架	YDC-1A1		1
21	軽量折りたたみ担架	ANS24		1
22	爪付油圧ジャッキ	MHC-1TL		1
23	ヤマハ発電機	EF1800iS	定格出力：1.8kVA [50Hz/60Hz]	2

新北野福祉会館 2F 倉庫保管品

NO	品 名	形 式	仕 様	数量
1	MITA クイックシェルター	QS-M	長さ 2.1m x 幅 2.1m x 高さ 1.8m	28
2	MITA クイックシェルター	QS-L	長さ 2.4m x 幅 2.4m x 高さ 1.8m	20
3	モバイルトランシーバー	DR-DPM60E		1
4	デジタルハンディトランシーバー	DJ-DPS70		11
5	ハンズフリー拡声器			3

家庭の備え

「非常持ち出し品や備蓄品などの準備」(大阪府)より

非常持ち出し品

- | | | |
|--|--|--|
| <p>●貴重品</p> <p>☐ 現金 (公衆電話用に10円玉も)</p> <p>●飲料水・非常食</p> <p>☐ 缶入り乾パン</p> <p>☐ 飲料水 (500mlペットボトル)</p> <p>●救急袋</p> <p>☐ 毛抜き ☐ 消毒薬</p> <p>☐ ガーゼ (滅菌) ☐ 包帯</p> <p>☐ 脱脂綿 ☐ ばんそうこう</p> <p>☐ 三角巾 ☐ 常備薬・持病薬など</p> | <p>●衛生用品</p> <p>☐ マスク ☐ アルコール消毒薬</p> <p>☐ 体温計 ☐ 台所用洗剤</p> <p>☐ 手洗い洗剤</p> <p>●情報・照明</p> <p>☐ 携帯ラジオ</p> <p>☐ 懐中電灯 (できれば1人に1つ)</p> <p>☐ ローソク</p> <p>☐ 携帯電話の充電器・モバイルバッテリー</p> | <p>●生活用品</p> <p>☐ ライター ☐ 十徳ナイフ</p> <p>☐ 軍手・手袋 ☐ ロープ</p> <p>☐ 簡易トイレ ☐ トイレットペーパー</p> <p>☐ ティッシュペーパー</p> <p>☐ レジャーシート</p> <p>☐ サバイバルブランケット</p> <p>☐ タオル ☐ ウェットティッシュ</p> <p>☐ 筆記用具 ☐ 油性マジック (太)</p> <p>☐ 布製ガムテープ ☐ ポリ袋</p> <p>☐ ラップ (止血・食器覆い用)</p> <p>☐ 歯ブラシ・歯磨き粉・洗口液</p> |
|--|--|--|

個人や家庭の事情にあわせ備えを検討するもの

必需品・貴重品類

- ☐ 預貯金通帳 ☐ 運転免許証
- ☐ 鍵 (自宅・車等) ☐ 健康保険証
- ☐ パスポート・在留カード・特別永住者証明書
- ☐ 予備メガネ・コンタクトレンズ等
- ☐ お薬手帳 ☐ 義歯
- ☐ 支援プラン (一人で避難することに不安がある方)

赤ちゃん用品

- ☐ 粉ミルク ☐ 哺乳瓶 ☐ 離乳食
- ☐ おやつ ☐ スプーン ☐ 着替え
- ☐ 洗淨綿 ☐ 紙おむつ ☐ ガーゼ
- ☐ 毛布 ☐ バスタオル ☐ おしりふき
- ☐ おんぶひも ☐ 玩具 ☐ 母子手帳
- ☐ ベビーカー

高齢者用品

- ☐ 高齢受給者証 ☐ 予備メガネ
- ☐ おむつ ☐ 看護用品
- ☐ 着替え ☐ 持病薬
- ☐ おしりふき



リュックサックなど両手が自由に動かせるものに入れておき、いつでもすぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。

家族構成を考え必要最小限に絞り込み、一度背負ってみましょう。また、少なくとも年に一度は点検しましょう。

※あくまで目安です。自分で持って避難できる量にしましょう。

●家庭に備えておくもの

非常備蓄品

- | | | |
|---|---|--|
| <p>●飲料水・非常食</p> <p>☐ 飲料水 (1人1日3ℓ目安に)</p> <p>☐ 非常用給水袋・給水タンク</p> <p>☐ アルファ米 ☐ 乾パン</p> <p>☐ パン缶 ☐ インスタントラーメン</p> <p>☐ 缶詰 ☐ レトルト食品</p> <p>☐ スープ ☐ 味噌汁 ☐ 塩</p> <p>☐ ビスケット ☐ キャンディ</p> <p>☐ チョコレート</p> <p>●衣類</p> <p>☐ 上着 ☐ 下着 ☐ 靴下</p> <p>●生活用品</p> <p>☐ タオル ☐ バスタオル</p> <p>☐ 毛布 ☐ 雨具 ☐ ラップ</p> <p>☐ アルミホイル</p> | <p>☐ 皿 (紙・ステンレス)</p> <p>☐ スプーン ☐ フォーク</p> <p>☐ わりばし</p> <p>☐ コップ (紙・ステンレスなど)</p> <p>☐ 卓上コンロ ☐ ガスボンベ</p> <p>☐ 固形燃料 ☐ 鍋 ☐ やかん</p> <p>☐ 石炭 ☐ 簡易トイレ</p> <p>☐ 歯ブラシ・歯磨き粉・洗口液</p> <p>☐ ドライシャンプー</p> <p>☐ トイレットペーパー</p> <p>☐ ティッシュペーパー</p> <p>☐ ウェットティッシュ</p> <p>☐ マスク ☐ アルコール消毒薬</p> <p>☐ 懐中電灯 ☐ 予備電池</p> <p>☐ 携帯電話の充電器・モバイルバッテリー</p> <p>☐ 安全ピン</p> | <p>☐ 新聞紙 (保温・火種などに)</p> <p>☐ 使い捨てカイロ</p> <p>●その他</p> <p>☐ ブルーシート</p> <p>☐ キャリーカート (給水所から給水袋や給水タンクを運ぶ際に使用)</p> <p>☐ 布製ガムテープ (荷物の整理・止血・ガラス等の補修)</p> |
|---|---|--|

地域本部と区役所との連絡手段

1



電話



淀川区災害対策本部 06-6308-9743

(注) 以前は、下4桁が「9734」でしたが変更されています



淀川消防署 06-6308-0119



淀川警察署 06-6305-1234

2



デジタル MCA 無線機

現在、大阪市内の各地区・各組織に配備されている、災害耐性の強い無線機です。ぜひとも使い慣れておきましょう。中継局には、非常用電源が確保されています。

3



メール、ネット経由

メールアドレス (ティール t10002@city.osaka.lg.jp)

Microsoft Teams によるオンライン通信も準備する予定です。

4



避難所に派遣された職員に伝達を依頼

5



大阪市防災情報システム

今後、各地域に ID を付与します。区役所と地区のやりとりが可能となります。区内の被害情報、避難所開設状況、河川の水位、気象情報等が確認できます。

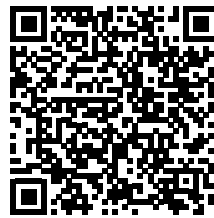
情報は命綱



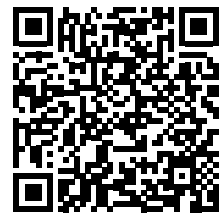
【大阪市危機管理室提供】

迫りくる危険をプッシュ通知してくれます。
オフラインでも防災マップが使用できます。
多言語対応しています。

iOS版

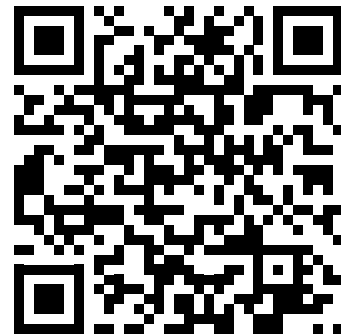


Android 版



【淀川区 LINE 公式アカウント】

特に重要な災害情報のみ通知してくれます。
平常時の発信は一切ありません。



【Yahoo! JAPAN 提供】

現在地と国内3地点まで設定可能。
職場や学校など広域の情報を即時入手。

iOS版



Android 版



重要



スマホやパソコンをうまく使いこなせない人もいます。有益な情報を手にしたら、隣近所で共有するようにしましょう。声をかけあうことが、「命綱」となります。

防災訓練の様子



2023年度の防災訓練も「守る、みんなのいのち！」の精神で取り組みました。町会の活動にご参加ください！



MEMO

メッセージ

今回、地区防災計画改訂プロジェクトに参加して、災害対応に関する考え方を更新することができました。時間との闘いとなる初動時は、地区内のすべての人を、一度に支援することなどないません。そのため、厳密に行動の優先順位を考えておき、それを事前に周知することにしました。新北野地区では、弱い立場の人たちを守り切るために、今後、訓練を繰り返し、計画をしっかり拡充してまいりたいと思います。

【吉村昌樹】

①率先避難者になる（迷わず安全な場所に逃げる）。②最善を尽くす（出来る事は悔いのないように全てやる）。③想定にとらわれない（毎回違う形で起きる災害。今までの災害はこうだったとか過去にとらわれず準備しなくてはならない）

【西尾喜美子】

あなたやあなたの家族を、他の誰かが守ってくれるとはかぎりません。守れるのはあなた自身です。災害に備えてあなた自身で、着実に準備を進めてください。

【水野淳一】

「災害」は忘れたころにやってくる！ 準備を怠らず、みんなで備えたいと思います。

【岩本英己】

防災・減災に強い新北野に!!

地域で作成した防災マニュアルを見て防災意識を高めよう！

【片山雅己】

被災したときは不安が多く混乱するかもしれませんが、それをすこしでも防ぐために私達が答えを探り、情報を共有しながら一つずつ乗り越えていきたいです！

【室永栄子】

令和 5 年度 地区防災計画改訂事業

(2024 年 3 月現在)

策定メンバー

吉村 昌樹

西尾喜美子

水野 淳一

岩本 英己

片山 雅己

室永 栄子

アドバイザー

関西大学社会安全学部 教授

近藤 誠司

